

令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人マザーリーフ

I. 事業実施の概略

特定非営利活動法人マザーリーフは、乳児から高齢者までの全ての世代に対して、子育て支援・引きこもり支援・高齢者支援・心を豊かにする心理学講座など、各世代間の悩み、苦しみ、不安を分かち合いながら、健全な人間関係の育成、支援、理解を、実践を通して学びあうための事業を行い、一人ひとりが地域社会の大切な、かけがえのない存在として成熟しあい、生きる知恵を持つ老賢者が増し、豊かな人間関係を築ける地域社会づくりを実現するために、本法人の定款第5条に定める次のような事業を実施した。

- (1) ボランティア養成講座事業
- (2) 高齢者生きがい講座事業
 - *施設訪問サロン
- (3) 結婚講座事業
- (4) 心理学勉強会（人間学）事業
 - *絵本研究グループ（岡山刑務所）
 - *コラージュ心理講座
 - *平成31年度岡山市人権啓発活動補助金対象事業
「内観エンカウンターワークショップ」
- (5) 親子等体験学習事業
 - *理科大好き養成講座
 - *平成31年度子どもゆめ基金助成事業
「個性交流みんながリーダーだ！！」事業
- (6) 芸術・文化表現事業
- (7) 傾聴有償サービス事業
 - *訪問傾聴
- (8) ふれあいの場づくり事業

尚、定款第5条（1）ボランティア養成講座事業（3）結婚講座事業（6）芸術・文化表現事業（8）ふれあいの場づくり事業は、実施しなかった。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係わる事業

A) 高齢者生きがい講座事業 施設訪問サロン事業

①事業目的

高齢者施設でのレクリエーションとして、施設利用者の方々に、世代を超えた人との会話・ふれあい・コミュニケーションの機会をより多く持っていただくことで、心身が安定することを目的とする。

②事業内容

平成31年4月～令和2年3月

岡山市内下記2施設に、毎月訪問サロン活動を行う。

株式会社ベネッセスタイルケア「まどか」：毎月1回から2回、1時間訪問

株式会社ベネッセスタイルケア「こちち」：毎月1回、1時間訪問

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
(2)高齢者生きがい講座事業	春の歌(春の小川,花,朧月夜), 絵本(おかあしちゃんはい)	4月3日	1名	入居者 11名
		4月17日	1名	入居者 17名
(2)高齢者生きがい講座事業	身体表現・季節の歌,懐かしの歌,端午の節句(せいくらべ,こいのぼり,蘇州夜曲,茶摘み等)	5月1日	1名	入居者 10名
		5月16日	1名	入居者 14名
		5月21日こちち	1名	入居者 24名
(2)高齢者生きがい講座事業	身体表現,季節の歌,唱歌,懐かしの歌(みかんの花咲く丘,夏は来ぬ,おかあさん等)	6月5日	1名	入居者 15名
		6月19日	1名	入居者 17名
		6月17日こちち	1名	入居者 18名
(2)高齢者生きがい講座事業	身体表現,夏の思い出,懐かしの歌,季節の歌(夏の思い出,海,隣組,好きになった人等)	7月3日	1名	入居者 15名
		7月17日	1名	入居者 14名
		7月22日こちち	1名	入居者 22名
(2)高齢者生きがい講座事業	身体表現,季節の歌,懐かしの歌(長崎の鐘,星影のワルツ等)	8月7日	1名	入居者 13名
		8月21日	1名	入居者 12名
(2)高齢者生きがい講座事業	身体表現,月の歌(虫の声,十五夜お月さん,月,君の名は等)	9月18日	1名	入居者 23名
		9月19日こちち	1名	入居者 26名
(2)高齢者生きがい講座事業	発声,季節の歌(里の秋,野菊,村祭り,ふるさと,岸壁の母等)	10月14日	1名	入居者 15名
		10月21日こちち	1名	入居者 28名
(2)高齢者生きがい講座事業	発声法,秋の唱歌(紅葉,赤とんぼ,南国土佐を後にして等)	11月11日	1名	入居者 21名
		11月25日こちち	1名	入居者 30名
(2)高齢者生きがい講座事業	冬の唱歌,音の階段,クリスマス,冬景色,たきび,ふるさと等	12月16日	1名	入居者 18名
		12月23日こちち	1名	入居者 29名
(2)高齢者生きがい講座事業	冬の唱歌(雪山賛歌,雪,幸せワルツ,金色夜叉等),身体表現	1月13日	1名	入居者 21名
		1月20日こちち	1名	入居者 28名
(2)高齢者生きがい講座事業	早春の歌(早春賦,知床旅情,雪国の春,うぐいす)・身体表現	2月15日	1名	入居者 12名
		2月24日こちち	1名	入居者 29名

A) 事業費合計 ￥75,000

④事業成果

サロンに参加されている皆さんの表情・言葉が豊かになり、歌詞カードを見なくても歌をくちずさめるようになり、気に入った曲では、参加者からアンコールの希望も出るようになった。音楽セラピーとして、発声・口体操を取り入れた内容を継続することで、声量が豊かになり、誤嚥性肺炎予防にもなっている。唱歌と共に、ナラティブセラピーとして、「おかあさん」をテーマに取り入れることで、認知症であっても時代背景や記憶がよみがえり、母との思い出、家族との思い出を、感情豊かに、懐かしく語り合える姿も見られた。

令和2年3月より、新型コロナウイルス感染予防対策として、施設管理者から担当者に対し、事態が収束するまでは、訪問サロン(レクリエーション)を休止とする旨の連絡があった。参加者の方が定期的なサロンの継続を心待ちにして下さっているので、一日も早い訪問サロンの再開が望まれている。

B) 心理学勉強会 (人間学) 事業 絵本研究グループ 岡山刑務所社会性涵養講座事業

①事業目的

自分の犯した罪を認める勇気と未来を変える生き方を、絵本を読み解きながら、エンカウンターをとおして、人の気づきを聴き、物事の捉え方を学び合う。

②事業内容

平成31年4月～令和2年3月を今年度講座実施期間とし、岡山刑務所の受刑者に対し、毎月2回の絵本心理講座を開催する。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	講師の従事者	講座の受益対象者	支出額 (千円)
				人数	範囲及び人数	
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 16期生6講座	4月8日～6月24日 10時～11時30分	岡山刑務所	2名	受刑者6名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 17期生12講座	7月8日～12月23日 10時～11時30分	岡山刑務所	2名	受刑者6名	0円
(4)心理学勉強会 (人間学) 事業	絵本研究グループ 18期生6講座	1月20日～3月23日 10時～11時30分	岡山刑務所	2名	受刑者7名	0円

④事業成果

講師の問いかけに対し、受講者が今の気持ちを自己開示する事で、互いの意見を話し合い、聴き合い、尊重し合う場となっている。17期生は、初めて出会う絵本から、絵本講座に参加するのは2回目の16期生、18期生はイソップ寓話から、自立、死生観、命のメッセージを深く捉えることで、これまでの自己を客観的に見つめ、罪を犯した過去の自分を認め、これからの自身の生き方について向き合い、素直に気づきを発言し、話し合えるようになった。

C) 心理学勉強会（人間学）事業 コラージュ心理講座事業

①事業目的

多様な感性に触れる事で刺激され感性が磨かれ敏感になり、自己表現として「コラージュ」を学ぶ。傾聴・カウンセリングに必要な立体的な捉え方、多方向からの見方、洞察力を学ぶ。エンカウンターで進行しながら、コラージュ作成前後の気持ちの変化や気づきを深め、学び合い育ち合う場を提供する。

②事業内容

平成31年4月～令和2年3月まで。10回講座。

各回当日テーマを決め、テーマの中で今の自分に向き合いながらコラージュ作成し、仲間の中でシェアすることで、さらに深まり、見方が変わり、気づきが生まれる。コラージュ表現を言葉に置き換えて、皆に伝える、感じたことを言葉にする。仲間の中で進め方、エンカウンターの仕事、深め方も併せて学び、育ち合う。エンカウンターの中で、無意識を探り、自分の思いがけない気づきを自己開示しながら、コラージュ作成の前後の心の状態の変化を分かち合う。

③事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容 テーマ	実施日時	1回の 従事者人数	1回の受益対象者 範囲及び人数
(4)心理学勉強会（人間学）事業	平成	4月20日10時～12時	2名	5名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	守りたいもの	5月18日10時～12時	2名	4名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	音楽コラージュ	6月15日10時～12時	2名	6名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	災い	7月20日10時～12時	2名	4名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	うかぶ	9月21日10時～12時	1名	3名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	音楽コラージュ	10月19日10時～12時	1名	3名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	オン・オフ	11月16日10時～12時	2名	7名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	挑戦	1月18日10時～12時	2名	6名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	音楽コラージュ	2月15日10時～12時	2名	6名
(4)心理学勉強会（人間学）事業	てんこ盛り・振り返り	3月21日10時～12時	2名	7名

C) 事業費合計 ￥54,000

④事業成果

とらわれない表現、個性的な表現、自由な表現を認め合い、育ち合える仲間の存在は大きい。自分を自由に表現し、表現からの気づきを言葉にしていくことが広く、深くなった。

D) 心理学勉強会（人間学）事業

岡山市人権啓発活動補助金事業「内観エンカウンターワークショップ」

① 事業目的

内観を取り入れた傾聴を学ぶことで、自分自身が幸せに生きやすくなるだけでなく、周りの人々とも穏やかな人間関係が築きやすくなる。ノーベル平和賞ノミネートもされていた、差別偏見問題の解決法とされるカール・ロジャーズの考案したエンカウンターを併用し、集団に対して差別偏見の問題解決に取り組むワークショップ及び講演を開催する。

自分の周りの身近な差別問題から、人権を尊重した差別のない共に歩むインクルーシブな社会構築を目指す。

② 事業内容

別紙参照

③ 事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の総出席人数	1回の受益対象者範囲及び人数
(4)心理学勉強会（人間学）事業	内観エンカウンターワークショップ	9月15日 午前10時～ 16時	きらめきプラザ3階 301会議室	13名	82名

D) 事業費合計 ￥ 295,008

④ 事業成果

「人権推進」という言葉に囚われがちであるが、身近なコミュニティにある差別からも、問題を提起し、エンカウンターで、自身の生き方を振り返ったときの気づきを分かち合った。講師による、わかりやすい内面を見つめる話の後に、各々が気づきを話すエンカウンターで、今の自分の囚われを自己開示され、自分の解放に向かった方が多くあった。当日配布アンケートの回収結果、82名中、27名回答。良かった 23名、とても良い 3名、良い 1名、普通 1名（午後途中からの参加となったので、内観についてもっと詳しく知りたくなったから。）

E) 親子等体験学習事業

公益財団法人 福武教育文化振興財団 平成31年度教育助成事業

理科大好き養成講座事業

① 事業目的

「理科大好き養成講座」は平成25年から開設し、小学校などに出向き出前講座を行っている。これまでの経験から、多くの子ども達は理科に興味を持っており、学習意欲旺盛であることが分かった。そこで授業は音声、画像、動画を取り入れて行い、簡単な実験を加えて、理科への興味、関心、考える力を養う

ように工夫した。成果として子ども達は「何故なんだろう」、「やって見よう」、「そうなんだ」と興味と関心を持ち始め、学ぶ意欲を感じるようになった。

このような授業方法は障害者向けの授業にも効果的であった。理科学力の低下、理科離れから回復するには、子ども達が自ら不思議を発見し、知識を関連づけて考える力を養うことが重要である。

我々のグループは子ども達に理科の考え方を興味深く説明し、本質を捉える簡単な実験を取り入れ、理科への興味と関心、考える力を高め、自ら学ぶ意欲と姿勢を身につけ、豊かな表現力を養うことを目標としている。また、授業中は子ども達に積極的な発言を促しプレゼンテーション力の向上を目指している。

② 事業内容

県内の小学校などに出向いて、元大学の教授等による理科学力のアップや学ぶ意欲の向上を目指した出前授業を26回行った。小学校の教科に即して行う出前授業は学校の都合に合わせて行った。児童館などで行う出前授業は子ども達の夏休み期間中を中心に行い、ふれあい児童館などでの出前授業は依頼を受けて年間を通じて行った。

旭川荘児童院での重度の障害を持つ子ども達には当施設の教員と授業内容、子ども達の行動範囲など綿密に事前打ち合わせを行い実施した。子ども達が熱心に瞳を輝かせて授業に聞き入っていたのがとても印象的であった。特にロボットの授業では自分で操作してロボットを動かしてプログラミングに挑戦していた。病院で療養中の子ども達にも、理科学習を提供するため、授業内容を録画するなどの作業を行っている。

③ 事業成果と効果

子ども達の感想（感想文含む）などを集計・分析した結果、子ども達が理科の学習に興味を持ち、理解する力を身に付けることが出来たことが分かった。出前授業では子ども達に質問させたり、考えを発表させたりしながら授業を行ったことで、まとめる力、プレゼンテーション力の向上が図られた。授業を通じて夏休みに自主的に課題を持ち問題解決に向けた取り組みをしたいと子どももいた。小規模の小学校では今年も学校合同で連携授業を行った。学習に加え子ども達の交流、競争力を養うことも出来た。児童館等では親子合同の出前授業を行っており、親子が一緒に学ぶことで親子の絆ができ、子どもの学習意欲の向上と積極性が図られた。旭川荘児童院では多くの学習支援者と出前授業を行い、子ども達の障害度に合った学習支援を行うことが出来た。子ども達はセミの生態にビックリしたり、標本に触ったりと瞳を輝かせていた。重度の障害を持つ子ども達に理科の面白さと学習意欲の向上を図ることが出来た。

④ 事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
親子等体験学習事業	からだのしくみ	5月27日	プレスクールかみごおり	1名	4, 5歳児 36名
親子等体験学習事業	フッポウソウ	6月15日	吉備中央町図書館	1名	小学生20名
親子等体験学習事業	セミの歌と生活	7月9日	吉備高原小学校	5名	小学2年生9名
親子等体験学習事業	コオロギの生態	7月11日	大和小学校	2名	小学2年生8名
親子等体験学習事業	セミの生態	7月13日	吉備中央町図書館	2名	小学生20名
親子等体験学習事業	セミの歌と生活	7月17日	呉妹小学校	2名	小学1年～3年生23名
親子等体験学習事業	プログラミング入門	7月17日	呉妹小学校	3名	小学4～6年生33名
親子等体験学習事業	ロボット	7月20日	浜野公会堂	1名	親子20組
親子等体験学習事業	ロボットのしくみ	7月20日	浜川原児童館	1名	小学生20名
親子等体験学習事業	わくわく科学実験	7月27日	岡山ふれあい児童館	1名	親子20組
親子等体験学習事業	宇宙へ飛んでみよう	7月30日	上南公民館	2名	小学生10名
親子等体験学習事業	空気(火・雲・風船)	7月31日	プレスクールかみごおり	2名	4, 5歳児 36名
親子等体験学習事業	プログラミング入門	8月1日	南ふれあい児童館	3名	親子15名
親子等体験学習事業	わくわく科学実験	8月3日	吉備青少年自然の家	4名	小学生10名
親子等体験学習事業	飛行機を飛ばそう	8月19日	甲浦小学校	2名	小学生20名
親子等体験学習事業	プログラミング	8月21日	旭川荘	7名	学生20名
親子等体験学習事業	昆虫とセミ	8月25日	岡山市立東公民館	6名	親子20組
親子等体験学習事業	コオロギの生態	9月27日	上竹荘小学校	2名	小学生20名
親子等体験学習事業	コオロギの生態	10月9日	吉備高原小学校	2名	小学3年生9名
親子等体験学習事業	きょうりゅう	10月30日	プレスクールかみごおり	2名	4, 5歳児 36名
親子等体験学習事業	ロボット	11月9日	浜川原児童館	3名	小学生25名
親子等体験学習事業	宇宙へ飛んでみよう	12月22日	南ふれあい児童館	2名	小学生10名
親子等体験学習事業	振り子の科学	1月9日	上竹荘小学校	3名	小学5年生5名
親子等体験学習事業	プログラミング	1月18日	旭東児童センター	6名	小・中学生20名
親子等体験学習事業	宇宙旅行	1月29日	プレスクールかみごおり	1名	4, 5歳児 36名
親子等体験学習事業	振り子の科学	2月4日	吉備高原小学校	1名	小学5年生12名

E) 事業費合計 ￥ 153,467

F) 親子等体験学習事業

独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金 子どもの体験活動助成事業
「個性交流みんながリーダーだ!!」事業

① 事業目的

発達障害児を含む子どもたちが、ノーマライゼーションという理念の元で交流し、お互いの違いを認め合い、日頃気づかない自分の長所発見し、伸ばすことを目的とする。一泊研修という普段とは違う環境の中で、参加する子ども達みんなが、様々な場面でリーダーになり、自分に自信を持つことの大切さ、自分にも出来たという達成感を感じることで、それを自分の成長につなげる。

② 事業内容

午前は「自己開示力を育てる工作アートとエンカウンター（自己表現）」で、子ども達がそれぞれ自由に布製バックに布用クレヨンで絵を描き、作った作品をみんなで発表し合い、自分が工夫した点やこだわりの部分を発表した。午後から、「子どもわくわく科学講座」「個性を発揮！想像力を高めるカプラ！」「自己肯定感を育てるリーダー体験！」として、夕べの集いで、当日の活動内容を発表した。2日目は、自然の中で自由に親子で遊び、異年齢の子とも交流し、退所前には、2日間の振り返りを親子で発表した。

③ 事業場所及び活動日・参加人数

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	1回の従事者人数	1回の受益対象者範囲及び人数
親子等体験 学習事業	個性交流みんながリーダーだ！！	8月3日 午前9時～ 8月4日 午後14時	国立吉備青少年自然の家	16名	親子26名

F) 事業費合計 ￥ 443,678

④ 事業成果

親子、家族での参加を通じて、初対面の参加者、また異年齢の参加者同士が関わりを十分持つことが出来た。参加者それぞれがプログラムの中で、様々な場面でリーダーになり、みんなの前に出て、普段味わうことのできない緊張感の中で、自分にも出来るという自信と、出来たという達成感を持つことが出来た。大人たちもゆったりとした気持ちを持つことで、日常生活では目にすることの少ない、子ども達の自立心や助け合う姿を見ることができ、とても有意義な時間を参加者全員で分かち合うことが出来た。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

開催日時及び場所

令和2年4月12日（日）午前10時～12時 きらめきプラザ2階 会議室

議題 開会	総司会： 湯浅 啓子
理事長挨拶	理事長： 藤 恵子
議長・書記選出	議長： 湯浅 啓子
	書記： 上川 悦子
議事 令和元年度事業報告	事務局長：光岡 亜希子
令和元年度理事会報告	事務局長：光岡 亜希子
令和元年度会計報告	会計： 光岡 亜希子
	監査： 福田 利恵
令和2年度事業計画（案）	理事長： 藤 恵子
令和2年度収支予算（案）	会計： 光岡 亜希子
その他 質疑応答	
議長・書記解任	閉会

2. 理事会

令和元年度の理事会は、計12回開催され、きらめきプラザ（岡山市北区南方2丁目13-1）において7回、当法人事務所で1回、メールで4回開催された。

- * 平成31年4月14日（日） 第11回総会及び理事会（きらめきプラザ）
- * 令和元年5月12日（日） 第113回理事会（メール）
3・4・5月事業報告（まどかサロン 他） 5・6月事業予定（こそだてぼけっとまつり他）
- * 令和元年6月9日（日） 第114回理事会（きらめきプラザ）
5・6月事業報告（ぼけっとまつり 他） 6・7月事業予定（内観学会長崎大会 他）
- * 令和元年7月14日（日） 第115回理事会（メール）
6・7月事業報告（まどかサロン他） 7・8月事業予定（まどかサロン・刑務所絵本講座 他）
- * 令和元年8月11日（日） 第116回理事会（メール）
7・8月事業報告（刑務所絵本講座 他） 8・9月事業予定（夏休み一泊研修 他）
- * 令和元年9月8日（日） 第117回理事会（きらめきプラザ）
8・9月事業報告（国立吉備青少年自然の家一泊研修 他） 9・10月事業予定
- * 令和元年10月13日（日） 第118回理事会（きらめきプラザ）
9・10月事業報告（内観エンカウンターワークショップ 他） 10・11月事業予定
- * 令和元年11月10日（日） 第119回理事会（メール）
- * 令和元年12月8日（日） 第120回理事会（きらめきプラザ）
12・1月事業予定（刑務所絵本講座・ふろしき市 他）
- * 令和2年1月12日（日） 第121回理事会（草ヶ部事務所）
12・1月事業報告（刑務所絵本講座 他）・2月事業予定（まどかサロン 他）
- * 令和2年2月9日（日） 第122回理事会（きらめきプラザ）
1・2月事業報告（刑務所絵本講座 他） 2・3月事業予定（刑務所絵本講座 他）
- * 令和2年3月8日（日） 第123回理事会（きらめきプラザ）
2・3月事業報告（刑務所絵本講座 他） 3・4月事業予定（マザーリーフ総会 他）

令和元年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		236,000
2. 受取参加費		172,500
3. 受取寄附金		575,367
4. 受取謝礼		75,000
5. 受取助成金等		631,892
受取民間助成金		
岡山市人権啓発活動補助金	100,000	
公益財団法人福武教育文化振興財団助成	150,000	
子どもゆめ基金助成	381,192	
6. その他収益		5,002
受取利息	2	
雑収益	5,000	
経常収益計		1,695,761
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	181,385	
通信運搬費	12,994	
保険料	6,344	
役務費	0	
賃借料	35,560	
謝礼	414,000	
図書資料費	0	
印刷費	61,985	
会議費	28,227	
旅費交通費	196,745	
雑費	83,913	
その他経費計	1,021,153	
事業費計		1,021,153
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
消耗品費	31,476	
通信運搬費	116,439	
保険料	19,250	
賃借料	2,620	
謝礼	0	
光熱費	120,000	
雑費	1,000	
その他経費計	290,785	
管理費計		290,785
経常費用計		1,311,938
当期正味財産増減額		383,823
前期繰越正味財産額		43,256
次期繰越正味財産額		427,079

令和元年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
流動資産合計	427,079	
資産合計		427,079
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	43,256	
当期正味財産増減額	383,823	
正味財産合計		427,079
負債及び正味財産合計		427,079

令和元年度 活動計算書の注記

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人マザーリーフ

1. 重要な会計方針
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	A) 施設訪問サロン事業費	C) コラージュ心 理講座事業費	D) 内観エンカウ ンターワーク ショップ事業費	E) 理科大好き養 成講座事業費	F) 個性交流みんな ながリーダーだ! 事業費	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	236,000	236,000
2. 受取参加費	0	54,000	63,000	0	55,500	172,500	0	172,500
3. 受取寄付金	0	0	0	3,467	0	3,467	571,900	575,367
4. 受取謝礼	75,000	0	0	0	0	75,000	0	75,000
5. 受取助成金	0	0	100,000	150,000	381,892	631,892	0	631,892
6. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 未収金	0	0	0	0	0	0	0	0
8. その他収益	0	0	0	0	0	0	5,002	5,002
経常収益計	75,000	54,000	163,000	153,467	437,392	882,859	812,902	1,695,761
II 経常費用								
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
消耗品費	0	7,464	25,757	87,174	60,990	181,385	31,476	212,861
通信運搬費	0	0	3,970	0	9,024	12,994	116,439	129,433
保険料	0	0	0	0	6,344	6,344	19,250	25,594
役員費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	4,910	21,950	0	8,700	35,560	2,620	38,180
謝礼	0	32,000	138,000	14,000	230,000	414,000	0	414,000
図書資料費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷費	0	0	9,025	39,240	13,720	61,985	0	61,985
会議費	0	626	27,601	0	0	28,227	0	28,227
交通費	75,000	9,000	68,705	0	44,040	196,745	0	196,745
光熱費	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
雑費	0	0	0	13,053	70,860	83,913	1,000	84,913
その他経費計	75,000	54,000	295,008	153,467	443,678	1,021,153	290,785	1,311,938
経常費用計	75,000	54,000	295,008	153,467	443,678	1,021,153	290,785	1,311,938
当期経常増減額	0	0	▲132,008	0	▲6,286	▲138,294	522,117	383,823

令和元年度 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人マザーリーフ

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行普通預金	388,217	
手元現金	38,862	
流動資産合計		427,079
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		427,079
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	0	0
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		0
正味財産		427,079

前事業年度の年間役員名簿

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

特定非営利活動法人マザーリーフ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	任期	報酬の有無
1	理事長	藤 蕙子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
2	副理事長	湯浅 啓子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
3	副理事長	上川 悦子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
4	理事	笹山 理理		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
5	理事	平野 美代子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
6	理事	袴川 直子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
7	理事	別所 恭子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
8	理事	江川 郁恵		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
9	理事	石井 敏子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
10	理事	高原 草苗		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
11	理事	森 寛子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
12	理事	土井 典子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
13	理事	木下 由加		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
14	理事	光岡 亜希子		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無
15	監事	福田 利恵		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	無